

## 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相の解明に向けて (7)

2015, 2016年に採集したカミキリムシ

三木 進<sup>1)</sup>

船越山域で2015, 2016年に, 新たに3種類のカミキリムシを採集した. 同山域で確認したカミキリムシは119種となった. 今回リストに加えたイボタサビカミキリは, テイカカズラの枯れ蔓のたたき網で得られるが, 兵庫県内の記録は少ない. 高橋寿郎氏のカミキリ目録等によると, 古くは1941年に関公一氏が神戸市東灘区住吉で採集. 1974年7月に高橋匡氏が美方郡浜坂で見つけ, 高橋寿郎氏自身が神戸市兵庫区の烏原貯水池の湖畔で1963年に1頭, 83年に7頭採集している. 1999, 2000年には姫路市青山と姫路市家島町で各1頭の記録がある程度しか手元の資料では確認できなかった.

船越山にはテイカカズラがあり, 以前から枯れ蔓等を拾っていたが, 大量のキクイムシしか羽脱しなかった. 2015年秋に, 高さ10mほどの高所の細蔓が落下しているのを見つけ, 持ち帰ったところ, 2016年5月に羽脱した. 5mmほどの小さな虫が短い脚をフルに動かし, チョロチョコロと実に素早く走るのには驚かされた. 材の直径は1cmまでで, それより太い蔓からはビロウドカミキリが出てきた.

これまでの採集地から考えると, 兵庫県内に広く分布するようだが, テイカカズラの「程よい」枯れ蔓という条件が厳しく, 記録が少ないように思う. 現に高橋寿

郎氏が烏原貯水池で7頭採集したケースでは, コナラにテイカカズラが絡み付いていた所を, 網で「無闇矢鱈」にスウィーピングしたところ, 落下したという. 枯れ葉のついたテイカカズラの蔓を見つけたら, ぜひ調べてみてほしい.

### フトカミキリ亜科

1. フタオビアラゲカミキリ *Arhopaloscelis bifasciatus*  
船越山 (2014年, 寺谷川上流域で材採), 1♂, 3.v.2015羽脱;  
1♂, 1♀, 10.v.2015羽脱  
※寺谷川上流域は, 現在は堰堤が作られ, 立ち入ることができない.
  2. キモンカミキ *Menesia sulphurata*  
2♂, 1♀, 2014年「瑠璃寺のサワグルミ」材採,  
10.v.2015羽脱
  3. イボタサビカミキリ *Sophronica obrioides*  
2015年, 船越山のテイカカズラ材採, 1♂, 28.vi.2016羽脱;  
1♀, 30.vi.2016羽脱
- ※. ニセシラホシカミキリ *Pareutetrappa simulans*  
1♀, 船越山 (2014年, 寺谷川上流域材採), 13.v.2015羽脱  
前昆虫館長の内海功一氏の51種の船越産標本に含まれており,  
今回再確認した.

### 参考文献

- 高橋寿郎, 1983. イボタサビカミキリ兵庫県下での記録. きべりはむし, 11 (2) :64-66
- 三木 進, 2010. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相解明に向けて (1) 内海コレクション. きべりはむし, 32 (2) : 18-19
- 三木 進, 2010. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相解明に向けて (2) 2008, 2009年に採集したカミキリムシ. きべりはむし, 32 (2) : 20-22
- 三木 進, 2011. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相解明に向けて (3) 2010年に採集したカミキリムシ.



図1 1♂, 船越産イボタサビカミキリ. 体長5mm. 長い立毛が特徴.

<sup>1)</sup> Susumu MIKI 兵庫県明石市

きべりはむし, 33 (2) : 21-22

三木進, 2012. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相解明に向けて (4) 2011年に採集したカミキリムシ.  
きべりはむし, 34 (2) : 10-11

三木進, 2013. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相解明に向けて (5) 2012, 2013年に採集したカミキリムシ. きべりはむし, 36 (1) : 10-11

三木進, 2014. 佐用郡佐用町 船越山域のカミキリ相解明に向けて (6) 2014年に採集したカミキリムシ.  
きべりはむし, 37 (1) : 35

廣田嘉正・三木三徳・八木正道, 2001. 兵庫県のカミキリムシ.